

# LIXIL WLB/FLⅡ型ドア丁番 交換手順書

必要な工具 手回しプラスドライバー

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲ 注意** …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲ 注意

●本体脱落の原因になりますので、下記事項をお守りください。

- ・本体を吊込み後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。
- ・建付け調整(丁番による調整)時、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の留めねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。

## ■取付け上のお願

●丁番のねじ締付けおよび建付け調整の際は、手回しドライバーを使用してください。  
電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

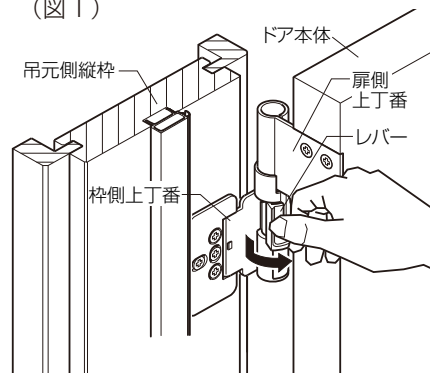
## ■対象となるドア丁番

商品シリーズ	色	部品コード	部品名称	ドア1体分の必要数	付属ねじ
WLB	ブロンズ	MDJB105CL	上丁番L用	各1※左吊の場合	皿タッピンねじφ4×20：8本
		MDJB106CL	下丁番L用		
		MDJB105CR	上丁番R用	各1※右吊の場合	皿タッピンねじφ4×20：8本
		MDJB106CR	下丁番R用		
FLⅡ型	サテンゴールド	MDSG196BL	上丁番L用	各1※左吊の場合	皿タッピンねじφ4×20：8本
		MDSG197BL	下丁番L用		
		MDSG196BR	上丁番R用	各1※右吊の場合	皿タッピンねじφ4×20：8本
		MDSG197BR	下丁番R用		
	サテンシルバー	MDS196BL	上丁番L用	各1※左吊の場合	皿タッピンねじφ4×20：8本
		MDS197BL	下丁番L用		
		MDS196BR	上丁番R用	各1※右吊の場合	皿タッピンねじφ4×20：8本
		MDS197BR	下丁番R用		

## ■交換手順

### 1. 本体の取外し

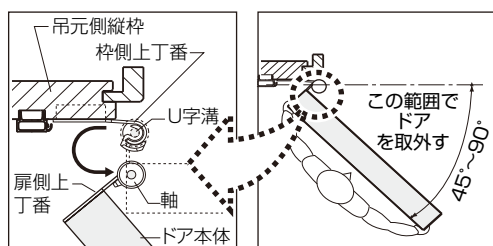
①枠側上丁番のレバーを下げながら回します。  
※レバーが動かなくなるまで回してください。  
(図1)



(図1)

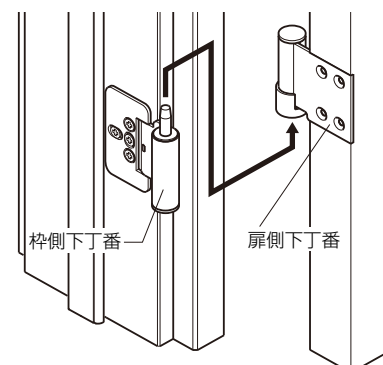
②ドア本体の開き角度が45°～90°の範囲で、扉側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝から抜出します。  
(図2)

※必ずドア本体を両手でしっかり保持してください。



(図2)

③枠側下丁番から扉側下丁番を抜出します。  
(図3)



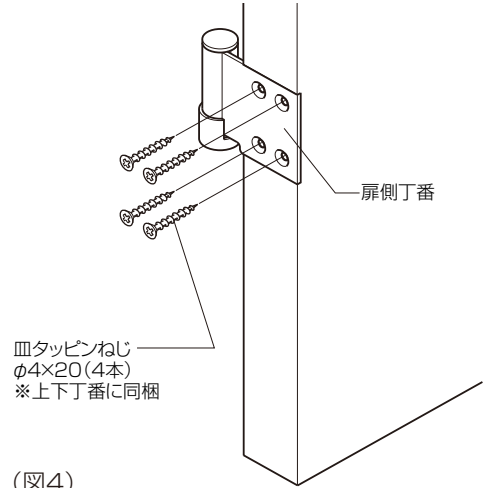
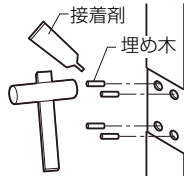
(図3)

## 2. 扉側丁番の交換

- ①手回しプラスドライバーでドア本体から丁番を取外します。  
(図4)
- ②丁番を交換し、手回しプラスドライバーでねじ留めします。  
※ねじが空回りする場合は、必ずねじ穴に埋め木をし、ねじの保持力を高めてください。

### ■埋め木の取付け方

- ①埋め木に接着剤を付けてください。
- ②ねじ穴に埋め木を入れてください。
- ③埋め木がねじ穴からはみ出る場合は、カッターで削ってください。



(図4)

### お願い

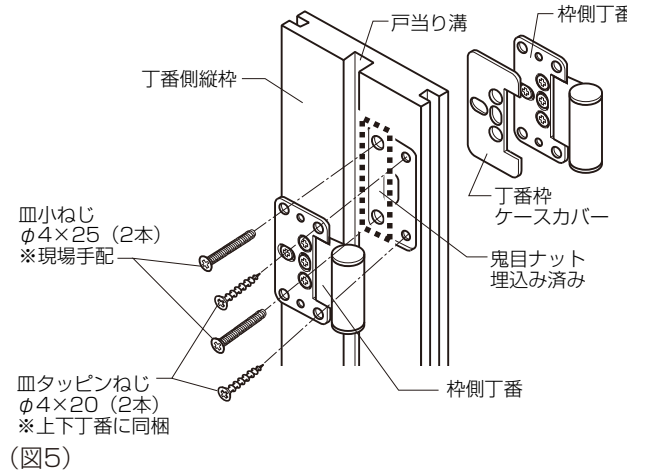
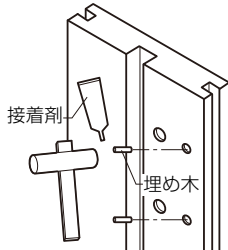
※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

## 3. 枠側丁番の交換

- ①枠側丁番から丁番枠ケースカバーを取外します。  
(図5)
- ②手回しプラスドライバーで枠側丁番の取付けねじを外します。
- ③枠側丁番を交換し、手回しプラスドライバーでねじ留めします。  
※ねじが空回りする場合は、必ずねじ穴に埋め木をし、ねじの保持力を高めてください。
- ※戸当り溝側の枠側丁番のねじ穴には枠の裏側から鬼目ナットが入っているため、ねじが空回りすることがなく、埋め木は必要ありません。
- ④枠側丁番に丁番枠ケースカバーを取付けます。

### ■埋め木の取付け方

- ①埋め木に接着剤を付けてください。
- ②ねじ穴に埋め木を入れてください。
- ③埋め木がねじ穴からはみ出る場合は、カッターで削ってください。



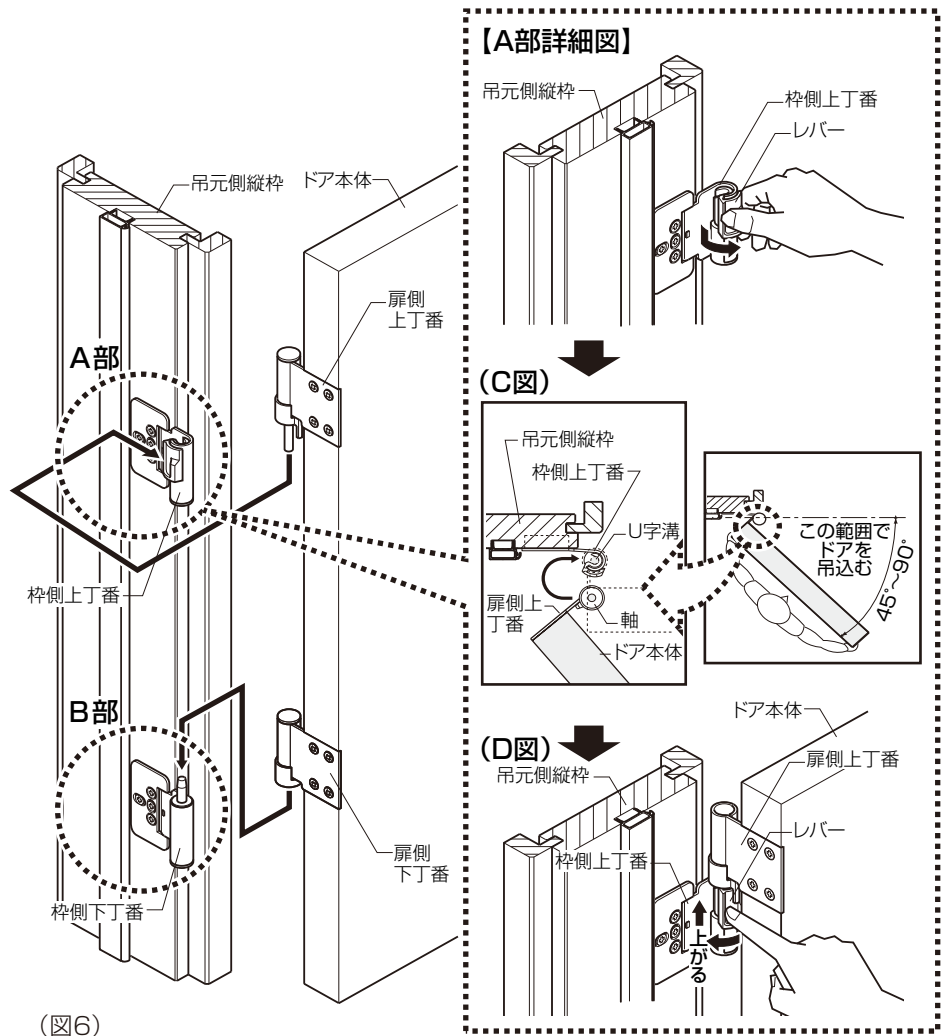
(図5)

### お願い

※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

#### 4. 本体の吊込み

- ① 枠側上丁番のレバーを下げながら回します。  
※レバーが動かなくなるまで回してください。  
(図6-A部、A部詳細図)
- ② 扉側下丁番を、枠側下丁番に差込みます。  
(図6-B部)
- ③ ドア本体の開き角度が $45^{\circ} \sim 90^{\circ}$ の範囲で、扉側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。  
(図6-C図)
- ④ 手でレバーを回して閉めます。  
※閉まると、レバーが枠側上丁番の上端まで上がります。  
※扉を吊込んだ後、レバーが上がっていることを確認してください。  
(図6-D図)
- ⑤ ドア本体の上下・左右のチリ寸法を確認して調整します。



(図6)

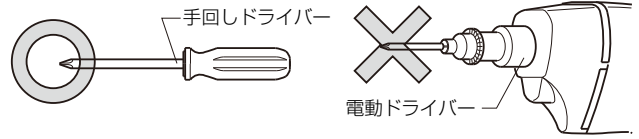
#### ▲ 注意

- 本体吊込み後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。  
レバーが上端まで上がっていないと、本体脱落の原因になります。

## 5. 建付け調整

### お願い

※建付け調整の際は、手回しドライバーを使用してください。  
電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる  
場合があります。

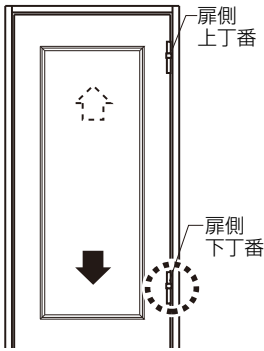


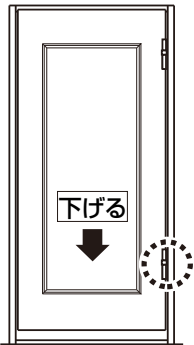
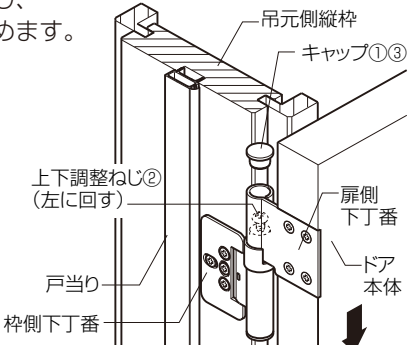
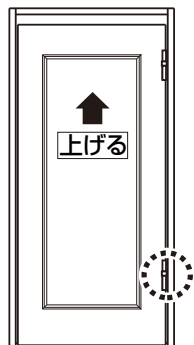
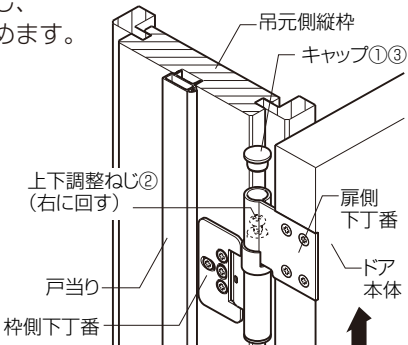
### ▲ 注意

●建付け調整(丁番による調整)時、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の留めねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。本体脱落の原因になります。

### 上下の調整

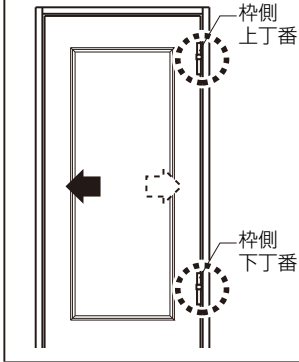
- 扉側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(3mm)、下(2mm)です。



不具合例	調整方法
<p>1 ドアの上部が枠に当たる</p> 	<p>①扉側下丁番のキャップを外します。 ②上下調整ねじを左に回し、 ドアを下げて位置を決めます。 ③キャップをはめます。</p> 
<p>2 ドアの下部が枠に当たる</p> 	<p>①扉側下丁番のキャップを外します。 ②上下調整ねじを右に回し、 ドアを上げて位置を決めます。 ③キャップをはめます。</p> 

### 左右の調整

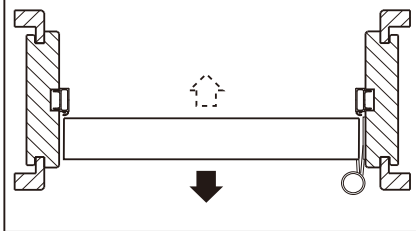
- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に2.5mmです。



不具合例	調整方法
<p>1 ドアの開き側が枠に当たる</p>	<p>① 固定ねじをゆるめます。 ② 左右調整ねじを右に回して、ドアを吊元側に移動し位置を決めます。 ③ 固定ねじを締めます。</p>
<p>2 ドアの開き側のすき間が大きすぎる</p>	<p>① 固定ねじをゆるめます。 ② 左右調整ねじを左に回して、ドアを開き側に移動し位置を決めます。 ③ 固定ねじを締めます。</p>

### 前後の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。



不具合例	調整方法
<p>1 開き側の枠が前に出ている</p>	<p>① 固定ねじをゆるめます。 ② 前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させます。 ③ 固定ねじを締めます。</p>
<p>2 吊元側の枠が前に出ている</p>	<p>① 固定ねじをゆるめます。 ② 前後調整ねじを右に回してドアを後ろに移動させます。 ③ 固定ねじを締めます。</p>